

学 校 概 要

○昭和49年開校 ○校長:館 雅之 ○副校長:直井 毅 ○学級数:15学級(うち個別3学級) ○児童数:366名 ○高田中学校ブロック

学 校 教 育 目 標

「チャレンジ! なかよし! 進んで学ぶ 東の子」

- 進んで学び続け、考えを深め、豊かにする子どもを育てます。(知) ○ 自分大好き、友達大好き、心豊かに生きる子どもを育てます。(徳)
- 心も体も鍛え、自他の生命と体を大切にすることを育てます。(体) ○ 地域を愛し、人やものとの出会いも大切に、共に生きる子どもを育てます。(公)
- 社会の多様な変化に柔軟に対応できる子どもを育てます。(開)

学 校 経 営 中 期 目 標

学校教育目標を実現するために「一人ひとりの子どもを徹底的に大切に、どの子どもにも居場所となる学校づくり」を目指します。

特に本年度は「三感教育」(三つの「感」(感性、感謝、感化)を柱にした教育活動)を推進します。

- (1) 特別支援教育の考え方をベースにし、一人ひとりの子どもに寄り添った支援・指導をすることにより、自己肯定感を含めた感性を高めていきます。
- (2) ユニバーサルデザインの考えを取り入れた指導法を取り入れ、基礎的・基本的な知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力の育成を図っていきます。
- (3) 集中して学習できる教室環境、人的環境などの教育環境を整備することにより、学習意欲の向上を図っていきます。
- (4) 学級、学年を超えた集団の活動を充実することにより、自他を大切に、感謝の気持ちを持ち、共によりよく生きる力を育てていきます。
- (5) 保護者や地域との連携を図ることにより、地域や社会に関心を持ち、高田のまちを愛し、大切にすることを育てます。

学校経営
中期目標
設定理由

本校は、児童数350人程度の規模の学校であるため、一人ひとりの子どもの実態を家庭環境も含め、把握しやすい環境にある。一方、個別支援級在籍児童数や特別支援を必要とする児童数の割合が高いことも特色である。これらの実態をふまえ、特別支援教育の考え方や学びのユニバーサルデザインの考えを根底にすることが大切であると考え、さらに教育の動向を見据え、感性、感謝、感化を柱とした教育を進めることで特色ある教育活動を推進することができると考え設定した。

小 中 一 貫 教 育 推 進 プ ロ ッ ク 目 標

共通目標

21世紀を生き、日本を引っ張っていくことのできるストリートスマートの育成

自校の取組

- ・ 共同研究などを通して、伝え合う力(表現力)や探究する力を育成しています。
- ・ 地域教材(人材)を積極的に取り入れた学習を通して、地域を愛し、大切にすることを育てています。

共 通 取 組 内 容

1 確かな学力	2 豊かな心	3 健やかな体
<p>○「学びのユニバーサルデザイン」の考え方を取り入れた指導法を工夫することによって、どの子どもにも「わかる」「できる」授業づくりに努めています。</p> <p>○自分の考えも他者の考えも大切にしたい上で、自分の思いを積極的に表現し、伝えようとするを大切にしながら、教科等の本質をとらえた「感性」を育成しています。</p>	<p>○年間指導計画の中で地域の人・自然・まちにふれ合う学習、縦割り班活動、係や当番活動など学校生活全般において児童が人と関わる場面を多く設定します。</p> <p>○他者の存在に「感謝」する気持ちを育て、その気持ちを様々な方法で表現できる子どもを育てます。また、他者に積極的に働きかけともよさを伝え合う「感化」を大切にしていきます。</p>	<p>○本校の特色である芝生の校庭を活かし、裸足で鬼ごっこやかけっこを楽しみ、体を動かすことを心地よく感じるやわらかな「感性」を培っていきます。</p> <p>○一校一実践運動の「長縄跳び」を通して、学級集団として目標に向かって根気強く取り組んでいます。</p> <p>○けんこう会議などを通して、保護者と共通理解をもって児童の健康づくりに取り組んでいます。</p>

重 点 取 組 分 野

4 特別支援教育	5 安全管理	6 キャリア教育
<p>○特別な教育的支援の必要な児童のニーズを適時性をもって把握できるように、職員間の情報交換を密に行います。</p> <p>○児童支援専任と特別支援教育コーディネーターを核に実態把握を行い、担任とともに個別の指導計画を作成するなど支援策の具体化、明確化を図り、特別支援を実施します。</p>	<p>○保護者や地域の協力による登下校時の見守り活動を継続するとともに、安全・防犯に対する児童自身の意識をより高めています。</p> <p>○地域防災拠点運営委員会との連携による避難訓練のあり方を検討するなど、大災害発生を想定した現実味のある訓練を実施し、児童の安全・防災の意識を高めます。</p>	<p>○自分の身の回りへの興味関心をもつこと、夢や希望を抱くこと、目標に向かって努力する態度を育てていきます。</p> <p>○自分らしさを発揮しながら、互いのよさを認め合い、ともに高め合う目標をもちその実現に向けて主体的、能動的に活動する子どもを育てていきます。</p>

人 材 育 成 ・ 組 織 運 営

- 経験の浅い教職員が活躍できる機会を積極的に設定し、柔軟な発想を組織活性化の一因として生かしていくようにします。
- 自己のキャリアステージをとらえ、それに即した目標設定をよりどころに自己を高めていくような学校評価システムを構築する。
- 主幹教諭を中心に組織運用の課題をとらえ、その改善を適宜、評価加えながら図っていきます。
- 校内研修の計画的な実施により、不祥事防止、危機管理意識の向上および対応力の育成に努めていきます。